

参院選で何としても躍進を

愛知・尾張旭、千種区 たけだ、すやま、井上議員



尾張旭市

千種区



たけだ良介参院比例候補と、すやま初美愛知選挙区候補、井上さとし参院議員は10日、愛知県の尾張旭市と千種区の演説会で3人そろって訴えました。

尾張旭では、高校生やデモスクラティアの青年、ママの会の女性や池住義憲さんも弁士で訴え、壇上で参加者の声援に応えました。たけだ、すやま両候補は、戦争法、消費税増税、学費、奨学金、

保育園の詰め込みやめて 給料上げて 保育園のくそママ・パパ・保育士らが要望



を見てくださ い」と訴え。政府が緊急対策に盛り込まなかつた保育士の処遇改善を求めました。

「ママ・パパ・保育士(潜在も)国会へ!有志」のみなさんが11日、国会内で集会を開き、政府に切実な声を届けました。本村伸子、島津幸広両衆院議員も参加し激励と決意を述べました。

政府が「待機児童解消」のために規制緩和と詰め込みを進める緊急対策を発表したことをうけ、厚労省や内閣府の担当者も出席するなか、保護者らから「子どもの命と安全を脅かす」「私たちの願いに逆行している」と批判が相次ぎました。

公立保育園の非正規保育士は「保育基準は今でも子どもの安全を守ることもギリギリ。一度現場

生後8カ月の息子が保育園に入らず2週間前に仕事を辞めたという母親は「無認可園も見学したが安心して預けられる所ではなかった。なぜこんなに大変なのか」と怒りを表しました。

本村、島津議員らは「野党が提出している保育士給与5万円アップの法案の実現をはじめ、みなさんの願い実現のためにがんばります」と表明しました。

相次ぐ保育園の死亡事故 改善の死に急げ

山下副委員長と島津議員

山下芳生参院議員・副委員長と島津幸広衆院議員は13日、認可外保育所で相次いで乳児の死亡事故が起きた問題で、所管する厚労省と内閣府から報告を受け、「抜本的に人員配置基準を引き上げるなど保育環境の改善に踏み込むべきだ」と求めました。

死亡事故は、3、4月に東京都と大阪市で相次いで起きました。いずれも認可外施設で、うつぶせ寝で寝かされていた。

厚労省によれば、大阪市の保育所は、事故発生時、施設基準は満たし

ていたものの、市の立ち入り調査で、保育者が1人しかいない、有資格者が不在など、基準を満たしていない時間帯があったことが判明。東京都の保育所は企業が共同で設置した事業所内保育所でした。

厚労省は、うつぶせ寝について、3月末に「事故防止のガイドライン」を出したと説明。山下氏は「ガイドラインの周知徹底というだけではダメだ。保育施設の基準を引き上げ、保育体制を整えるのが政府の仕事だ」とのべ、基準を緩和する政府の緊急対策を見直すよう求めました。

リニア対策チームが会合 ~南アルプスを横断する問題で学習会

党リニア中央新幹線問題対策チームの学習会と会合が8日、開かれ、同チームのメンバーの本村、島津両議員も参加しました。

建設関係の技術士の方から「南アルプスを横断するリニア新幹線の問題(断層横断)」をテーマに報告を聞き、質疑応答をおこないました。60か所以上の断層を通る計画の無謀さが、あらためて浮き彫りになりました。